

認知症に関する活動計画（概要）

兵庫県作業療法士会では、特設の認知症対策委員会を中心に関連する活動を展開している。2025年度の委員会活動は従来通りの研修会実施と家族の会との連携に加え、認知症に関わる作業療法士の交流の機会を増やしたいと考えている。具体的には①研修会の実施（年1回）②認知症の人と家族の会やその支援者と連携を図る事業の継続（共催イベントの実施・啓発活動の協力・集いへの参加）③認知症に携わる作業療法士の交流会（年1回）④県士会会員の地域での認知症関連の活動の実態に関する調査の4項目を中心に進める予定である。

世界アルツハイマー・デーでのイベントの企画

今年度も兵庫県作業療法士会として、認知症の人と家族の会が主催する啓発活動/講演会のイベントを支援する。啓発活動では当委員会メンバーが（中には子供連れで!?) 参加し、街頭で啓発リーフレットを配布しながら、市民に認知症に対する理解を呼びかけた。



認知症の人とみんなが一緒に楽しむ「認知症ぶらぶらウォーキング」

2022年度から認知症の人と家族の会兵庫県支部と密にコミュニケーションを取り、協働で活動していく機会を増やしている。2023年度に実施した「みんなでぶらぶらウォーキング」を2025年度も実施予定である。イベントとしての活動ではあるが、企画会議を通じて認知症の人と家族の会との相互理解が進んでいると同時に、作業療法士（特に病院勤務の作業療法士）にとっては、認知症の方の活動や参加を臨床的に学ぶ貴重な経験の場となっているものと考えられる。また、イベントで関わった当事者の方やその家族の方に継続して作業療法士の関与が必要だと判断した場合は、各市町の地域包括支援センターや地域参画している作業療法士との連携を図る取り組みを計画中である。



認知症に携わる作業療法士の交流会

2025年度より始まる新たな事業計画として「認知症に携わる作業療法士の交流会」がある。これまで地域で認知症の方やその支援者を支援する作業療法士の人材育成に向けた研修をステップアップ形式で行ってきた。また認知症に限らず地域参画する作業療法士の数が増加傾向にあると推測される。認知症の支援に関しては基本的な知識を得たとしても具体的な介入方法にはある意味正解が無く、一種のアイデアのようなものも必要とされるなどクリエイティビティが求められる。また、時には組織を含めた環境調整も必要となるため、関与する作業療法士も様々な情報を渴望するとともに漠然とした不安に襲われることも少なくない。そのためピアカウンセリング的な交流の場が必要であると考えている。今年度の計画でどこまで形に出来るかは未定ではあるが、今後も長く継続して認知症の携わる作業療法士の支援を図りたい。